

大会プログラム

9:00～ 受付 [6号館 6104室]

10:00～12:00 一般演題発表

口演 [A会場：4号館 1階 4101講義室]

[B会場：4号館 1階 4102講義室]

[C会場：4号館 1階 4103講義室]

示説 [D会場：6号館ホール]

12:00～13:00 昼休憩

13:00～13:10 挨拶 [6号館 6101室]

13:10～14:10 特別講演 [6号館 6101室]

テーマ：「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」

－ これまでとこれから －

講師：岡部 信彦 氏

（川崎市健康安全研究所 所長）

座長：豊田 長康 氏

（鈴鹿医療科学大学 学長）

14 : 10～16 : 30 シンポジウム [6号館 6101室]

(各15分発表、30分意見交換、5分まとめ)

テーマ：コロナ禍がもたらした今後の健康課題を考える

－保健医療福祉の連携、データの利活用、健康への影響－

1. 新型コロナウイルス感染症 第5波・第6波に対する三重県医師会の対応
演者：二井 栄 氏
(三重県医師会 会長)
2. コロナ禍と多職種連携 ―現場の取り組みと今後の課題―
「自治体データからできることとデータ公開のあり方」
演者：鈴木 貞夫 氏
(名古屋市立大学大学院医学研究科 公衆衛生学分野 教授)
3. 小児における影響と感染リスクを踏まえた対応
演者：谷口 清州 氏
(国立病院機構三重病院 病院長)
4. 地域高齢者への健康影響：コロナ禍における縦断調査結果より
演者：野口 泰司 氏
(国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 外来研究員)
(独立行政法人日本学術振興会 特別研究員)
5. 緩和ケア病院でのコロナ対応 ―感染拡大防止と患者・家族のケア―
演者：渡部 秀樹 氏
(鈴鹿医療科学大学看護学部看護学科 教授)
(鈴鹿医療科学大学附属桜の森病院 病院長)
6. 保健所の立場から ～今後の保健医療福祉の連携～
演者：鈴木 まき 氏
(三重県伊勢保健所 所長)

座長：尾島 俊之 氏

(浜松医科大学医学部健康社会医学講座 教授)

笹島 茂 氏

(三重大学大学院医学系研究科公衆衛生・産業医学分野 教授)

会場別日程一覧表

受付開始 9:00～（6号館 6104 室）

		鈴鹿医療科学大学/Zoom			
会場	A 会場 4号館 4101 講義室	B 会場 4号館 4102 講義室	C 会場 4号館 4103 講義室	D 会場 6号館 ホール	
時刻					
10:00～	口演発表 A-1～A-5	口演発表 B-1～B-5	口演発表 C-1～C-6	示説発表 10:00～10:20 (座長あり) D-1～D-2	
11:10～	口演発表 A-6～A-9	口演発表 B-6～B-9	口演発表 C-7～C-11	示説発表 10:20～11:50 (座長なし) D-3～D-19	
12:00～13:00	昼休憩				
				6号館 6101 講義室	
13:00～13:10				挨拶	
13:10～14:10				特別講演	
14:10～16:30				シンポジウム	

※ 一般演題及び特別講演・シンポジウムはオンラインでの同時配信も行います。

展示（6号館と4号館の間通路）

- ・日本栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT）緊急災害支援車両
- ・モバイルファーマシー（在宅医療・災害支援用移動薬局車両）